

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.25)No.	1070-3	(H.24)No.	1070-3
-----------	--------	-----------	--------

事務事業名	医療体制推進費(医療体制推進寄附講座開設寄附金関係)		
担当部局名	担当室名	室長名	
健康福祉部	地域医療体制担当/地域医療室	岩名静枝/富岡憲子	

会計区分	事業コード	250502
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款	衛生費	保健衛生総務費
項	保健衛生費	(小事業名)
目	保健衛生総務費	医療体制推進費

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	1	互いに認めあい支えあう、健康で安心できる暮らし
	基本政策	4	健康長寿のまちづくり
	施策	2	地域医療
	小施策	2	救急医療体制の充実
重点施策コード	1-1.安心できる医療体制の整備(地域医療体制の整備)		

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
それぞれの研究を通じて質の高い医療を提供するとともに、伊賀地域における二次救急医療の確保を図る。
事業内容
地域医療再生基金を活用し、関係大学に対して寄附講座を設置し、専門性の高い医療の研究を進めるとともに、名張市立病院への医師派遣により、伊賀地域における二次救急医療の確保を図る。 平成22～25年度まで事業費の1/2は地域医療再生基金より補助がある。(但し三重大学分は全額補助)

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.24年度(事業量・取組実績)	H.25年度(事業量・取組計画)	H.26年度(事業計画)	H.27年度(事業計画)	H.28年度(事業計画)	
主な事業の実績・計画	総事業費72,917千円 1.寄附講座設置事業 関西医科大学他58,917千円 2.委託事業 奈良県立医科大学他14,000千円	総事業費 78,500千円 1.寄附講座設置事業 関西医科大学他63,500千円 2.委託事業 奈良県立医科大学他15,000千円	総事業費78,500千円 1.寄附講座設置事業 関西医科大学他63,500千円 2.委託事業:奈良県立医科大学 他15,000千円	総事業費78,500千円 1.寄附講座設置事業 関西医科大学他63,500千円 2.委託事業:奈良県立医科大学 他15,000千円	総事業費78,500千円 1.寄附講座設置事業 関西医科大学他63,500千円 2.委託事業:奈良県立医科大学 他15,000千円	総事業費78,500千円 1.寄附講座設置事業 関西医科大学他63,500千円 2.委託事業:奈良県立医科大学 他15,000千円

	H.24年度(決算見込)	H.25年度(作成時予算額)	H.26年度(計画予算)	H.27年度(計画予算)	H.28年度(計画予算)
直接事業費	72,917千円	78,500千円	78,500千円	78,500千円	78,500千円
内訳(千円)					
国・県支出金	36,917	44,500			
地方債		H25.7.9誤記訂正			
その他()					
一般財源	(0) 36,000	34,000	78,500	78,500	78,500
人員					
職員	0.10人	0.10人	0.10人	0.10人	0.10人
臨時職員等					
概算人件費	(0千円) 770千円	770千円	770千円	770千円	770千円
+ 総事業費	(0千円) 73,687千円	79,270千円	79,270千円	79,270千円	79,270千円

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業など)は点検対象外)

考察(H.24年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
平成22年度から奈良県立医科大学、関西医科大学に寄附講座を設置してきたが、24年度から三重大学にも設置されたことにより、内科の医師が3名(うち1名非常勤)増員された。24年6月には市立病院が地域医療支援病院に承認されたことや同10月に地域医療教育研修センターが同病院に開設されたことにより、地域医療機関との連携が深まり、研修医の増員にも繋がった。しかし、寄附講座の補助金が25年度で最終となるが、医師確保のためは次年度以降も事業を継続する必要がある。	寄附講座により、名張市立病院の医師数が徐々に増えつつあり、伊賀地域の二次救急医療体制の危機が若干緩和されたが、まだ十分な数ではないため、引き続き寄附講座により、関係大学からの医師派遣を依頼したい。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか B(いずれかの施策指標達成に貢献又は基本方針達成に貢献)	寄附講座による市立病院への医師派遣により、伊賀地域の二次救急医療体制の構築につながった。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 実践している(実践内容を記載)	地域住民が安心・安全に生活できるまちづくりを基本施策に掲げている地域が多く、寄附講座により医師が増えることにより、医療体制の充実に繋がる。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(現行)
--	--------

具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に係る主な市の計画
市立病院への医師派遣は派遣元大学への寄附講座設置によるものが大きいと、伊賀地域の二次救急医療体制を維持するためにも継続する必要がある。	